

# 定 款

株式会社くふうカンパニーホールディングス

## 第1章 総則

### 第1条 (商号)

当会社は、株式会社くふうカンパニーホールディングスと称し、英文ではKufu Company Holdings Inc.と表示する。

### 第2条 (目的)

当会社は、次の事業を営む会社及び外国会社その他これに準ずる事業体の株式又は持分を所有することにより、当該会社等の事業活動を支援、管理することを目的とする。

- (1) インターネットを利用した各種情報収集、情報処理、情報提供、市場調査、その他情報サービスに係る事業
- (2) システム、ソフトウェア及びハードウェアの企画、開発、設計、製造、販売、使用許諾、保守、管理及びこれらの仲介、代理業
- (3) コンテンツ(文章、音声、画像、動画、コンピュータソフトウェア等)の企画、開発、制作、編集、販売及び配信及びこれらの仲介、代理業
- (4) 広告事業及びその仲介、代理業
- (5) 出版業
- (6) 不動産の売買、賃貸借、管理、鑑定及びこれらの仲介、代理業
- (7) リフォーム住宅の設計、施工、請負、管理並びにこれら事業の企画及び仲介、代理業
- (8) 店舗の設計、施工、請負、管理並びにこれら事業の企画及び仲介、代理業
- (9) 飲食店業
- (10) 宴会、展覧会、各種教室、及び各種イベント等の運営に係る事業
- (11) 金融業、投資業、貸金業、貸金代理業、集金の代行業、資金決済に係る事業
- (12) 生命保険及び損害保険の募集、締結の媒介に関する事業及び損害保険代理店業
- (13) 各種物品及びサービスの企画、開発、販売、リース、レンタル、輸出入及びこれらの仲介、代理業
- (14) 知育の教材・玩具の制作、販売及び各種教育事業
- (15) 無体財産権(著作権、著作隣接権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権等)の取得、管理、使用許諾、譲渡及びこれらの仲介、代理業
- (16) 古物営業法による古物商
- (17) 旅行業法に基づく旅行業及び旅行代理店業
- (18) 労働者派遣事業及び職業紹介事業
- (19) 電気通信事業法に基づく電気通信事業
- (20) 資金決済に関する法律に基づく情報提供サービス及び資金移動業
- (21) 写真、録画、録音物の企画、制作、編集、販売及びこれらの仲介、代理業
- (22) フランチャイズチェーンへの経営及び技術指導
- (23) 農業及び農業サービス業

- (24) 医薬品の販売
  - (25) 宿泊施設、スポーツ施設、及び劇場の運営
  - (26) 美容室、ネイルサロン、エステティックサロン、その他ビューティーサロン等の経営  
及び美容に関する各種サービスの企画、開発、提供並びにこれらの技術者の育成
  - (27) リゾート施設の企画、設計、施工、管理及び運営並びに当該施設の会員向けサービスの企画、設計、施工、販売、管理及び運営
  - (28) 前各号に関連する業務のコンサルティング及び受託に係る事業
  - (29) 前各号に付帯関連する一切の事業
2. 当会社は、前項各号の事業及び以下の事業を営むこととする。
- (1) グループ会社等の管理に係る業務
  - (2) 金融商品、不動産、その他投資商品等への投資及び運用
  - (3) 起業家支援、ベンチャー企業支援に係る事業
  - (4) 前各号に関連する業務のコンサルティング及び受託に係る事業
  - (5) 前各号に付帯関連する一切の事業

#### 第3条 (本店の所在地)

当会社は、本店を東京都港区に置く。

#### 第4条 (公告の方法)

当会社の公告方法は、電子公告とする。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

#### 第5条 (機関)

当会社には、株主総会及び取締役のほか次の機関を置く。

- (1) 取締役会
- (2) 指名委員会、監査委員会及び報酬委員会
- (3) 執行役
- (4) 会計監査人

## 第2章 株式

#### 第6条 (発行可能株式総数)

当会社の発行可能株式総数は、200,000,000株とする。

#### 第7条 (自己株式の取得)

当会社は、会社法第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって市場取引等により自己の株式を取得することができる。

## 第8条（単元株式数）

当会社の単元株式数は、100株とする。

## 第9条（単元未満株主の権利制限）

当会社の単元未満株主は、以下に掲げる権利以外の権利を行使することができない。

- (1) 会社法第189条第2項各号に掲げる権利
- (2) 会社法第166条第1項の規定による請求をする権利
- (3) 株主の有する株式数に応じて募集株式又は募集新株予約権の割当てを受ける権利
- (4) 次条に定める単元未満株式の買増しを請求する権利

## 第10条（単元未満株式の買増し）

当会社の株主は、株式取扱規程に定めるところにより、その有する単元未満株式の数と合わせて単元株式数となる数の株式を売り渡すことを当会社に対して請求することができる。

## 第11条（株主名簿管理人）

1. 当会社は、株主名簿管理人を置く。
2. 株主名簿管理人及びその事務取扱場所は、取締役会の決議によって定める。
3. 当会社の株主名簿及び新株予約権原簿の作成並びに備置きその他株主名簿及び新株予約権原簿に関する事務は株主名簿管理人に委託し、当会社においては取り扱わない。

## 第12条（株式取扱規程）

株主名簿及び新株予約権原簿への記載又は記録、単元未満株式の買取り、その他株式又は新株予約権に関する取扱い及び手数料、株主の権利行使に際しての手続等については、法令又は本定款に定めるもののほか、取締役会において定める株式取扱規程による。

## 第13条（基準日）

1. 当会社は、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された議決権を有する株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とする。
2. 前項にかかわらず、必要がある場合は、取締役会の決議によって、あらかじめ公告して一定の日を定め、その日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者をもって、その権利を行使することができる株主又は登録株式質権者とすることができる。

## 第3章 株主総会

## 第14条（招集）

当会社の定時株主総会は、毎事業年度末日の翌日から3か月以内に招集し、臨時株主総

会は、必要に応じて隨時招集する。

#### 第15条（招集権者及び議長）

1. 株主総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、あらかじめ取締役会で定めた取締役が招集する。当該取締役に事故があるときは、あらかじめ取締役会において定めた順序により、他の取締役が招集する。
2. 株主総会においては、あらかじめ取締役会で定めた取締役が議長となる。当該取締役に事故があるときは、あらかじめ取締役会において定めた順序により、他の取締役が議長となる。

#### 第16条（電子提供措置等）

1. 当会社は、株主総会の招集に際し、株主総会参考書類等の内容である情報について、電子提供措置をとる。
2. 当会社は、電子提供措置をとる事項のうち法務省令で定めるものの全部又は一部について、議決権の基準日までに書面交付請求した株主に対して交付する書面に記載しないことができる。

#### 第17条（議決権の代理行使）

1. 株主は、当会社の議決権を有する他の株主1名を代理人として、その議決権を行使することができる。
2. 前項の場合には、株主又は代理人は代理権を証明する書面を、株主総会ごとに提出しなければならない。

#### 第18条（決議の方法）

1. 株主総会の決議は、法令又は本定款に別段の定めがある場合を除き、出席した議決権を行使することができる株主の議決権の過半数をもって行う。
2. 会社法第309条第2項に定める決議は、本定款に別段の定めがある場合を除き、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもって行う。

#### 第19条（議事録）

株主総会における議事の経過の要領及びその結果並びにその他法令に定める事項は、議事録に記載又は記録する。

### 第4章 取締役及び取締役会

#### 第20条（取締役の員数）

当会社の取締役は3名以上とする。

## 第21条（取締役の選任）

1. 取締役は、株主総会の決議によって選任する。
2. 取締役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う。
3. 取締役の選任決議は、累積投票によらない。

## 第22条（取締役の任期）

取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会終結の時までとする。

## 第23条（取締役会の招集権者及び議長）

1. 取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、あらかじめ取締役会で定めた取締役が招集する。当該取締役に事故があるときは、あらかじめ取締役会において定めた順序により、他の取締役が招集する。
2. 取締役会においては、あらかじめ取締役会で定めた取締役が議長となる。当該取締役に事故があるときは、あらかじめ取締役会において定めた順序により、他の取締役が議長となる。

## 第24条（取締役会の招集通知）

取締役会の招集通知は、各取締役に対し、会日の3日前までに発する。但し、緊急の必要があるときには、この期間を短縮することができる。取締役の全員の同意があるときは、招集の手続を経ないで取締役会を開催することができる。

## 第25条（取締役会の決議の方法）

取締役会の決議は、議決に加わることができる取締役の過半数が出席し、出席した取締役の過半数をもって行う。

## 第26条（取締役会の決議の省略）

当会社は、会社法第370条の要件を充たしたときは、取締役会の決議があつたものとみなす。

## 第27条（取締役会の議事録）

取締役会における議事の経過の要領及びその結果並びにその他法令で定める事項は議事録に記載又は記録し、出席した取締役がこれに記名押印又は電子署名する。

## 第28条（取締役会規程）

1. 取締役会に関する事項は、法令又は本定款に定めるもののほか、取締役会において定め

る取締役会規程による。

#### 第29条（取締役の責任免除）

1. 当会社は、会社法第426条第1項の規定により、任務を怠ったことによる取締役（取締役であった者を含む）の損害賠償責任を、法令の限度において、取締役会の決議によって免除することができる。
2. 当会社は、会社法第427条第1項の規定により、取締役（業務執行取締役等である者を除く）との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結することができる。但し、当該契約にもとづく責任の限度額は、法令が規定する最低責任限度額とする。

#### 第30条（取締役の報酬等）

取締役の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当会社から受ける財産上の利益（以下、「報酬等」）は、報酬委員会の決議によって定める。

### 第5章 指名委員会、監査委員会及び報酬委員会

#### 第31条（各委員の選定方法）

当会社の指名委員会、監査委員会及び報酬委員会の委員は、取締役の中から、取締役会の決議により選定する。

#### 第32条（各委員会規程）

各委員会に関する事項は、法令又は本定款に定めるもののほか、取締役会において定める各委員会規程による。

### 第6章 執行役

#### 第33条（執行役の選任）

執行役は、取締役会の決議によって選任する。

#### 第34条（執行役の任期）

執行役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結後最初に招集される取締役会の終結の時までとする。

#### 第35条（代表執行役及び役付執行役）

1. 当会社は、取締役会の決議によって、代表執行役を選定する。
2. 取締役会は、その決議によって役付執行役を定めることができる。

#### 第36条（執行役の責任免除）

当会社は、会社法第426条第1項の規定により、任務を怠ったことによる執行役(執行役であった者を含む)の損害賠償責任を、法令の限度において、取締役会の決議によって免除することができる。

## 第7章 会計監査人

### 第37条 (会計監査人の選任)

会計監査人は、株主総会の決議によって選任する。

### 第38条 (会計監査人の任期)

1. 会計監査人の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会終結の時までとする。
2. 会計監査人は、前項の定時株主総会において別段の決議がなされないときは、当該定時株主総会において再任されたものとする。

### 第39条 (会計監査人の報酬等)

会計監査人の報酬等は、代表執行役が監査委員会の同意を得て定める。

## 第8章 計算

### 第40条 (事業年度)

当会社の事業年度は、毎年10月1日から翌年9月30日までの1年間とする。

### 第41条 (剰余金の配当等の決定機関)

当会社は、剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に定める事項については、法令に別段の定めのある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議によって定める。

### 第42条 (剰余金の配当の基準日)

1. 当会社の期末配当の基準日は、毎年9月30日とする。
2. 当会社の中間配当の基準日は、毎年3月31日とする。
3. 前二項のほか、基準日を定めて剰余金の配当をすることができる。

### 第43条 (配当金の除斥期間)

1. 配当財産が金銭である場合は、その支払開始の日から満3年を経過しても受領されないときは、当会社はその支払義務を免れる。
2. 未払の配当金には利息をつけない。

2021年10月1日	制定
2022年12月22日	改定
2023年12月21日	改定
2024年12月24日	改定 2024年12月31日 効力発生
2025年12月23日	改定